

「未成交響曲」に终らず前進を

政新クラブ 石井 議員

議員 先日、安田市長の引退の新聞報道があった。宮本武蔵の「五輪書」の地の巻には、「我が道をよく磨くこと肝要なり」という一節がある。三鷹市という芸術作品の完成をめざし、オンリーワンのまちづくりに向けた更なる前進を望み、質問する。①三鷹市政に対する現在の所感を伺う②日本経済新聞社の「行政サービス調査」では、三鷹市は「改革度」で全国一位だ。しかし、三鷹市ゆえに選択せざるを得なかった道でもある。一方、東洋経済新報社の「都市データバック」では、「住みよさ順位」は鶴市中、618位だ。今後のまちづくりを伺う③第3次実施計画の達成率は85%と聞いた。総合スポーツセンター（仮称）建設事業等への今後の取組みについて、所見を示す④協働のまちづくりには、住民協議会を中心とした地域型と市全域対象のテーマ型とがある。どちらも大切なパートナーであり

教育 環境 多様化に柔軟に対応せよ

公明党 緒方 議員

議員 ①全国の不登校児童・生徒数は、近年増加の一途をたどり、13年度は13万人を超え、過去最高を記録した。②市内公立小・中学校の「保健室登校」の現状を聞く③「保健室登校」等をする子どもへの対応の考え方を伺う④不登校の対策としてのIT活用を伺う⑤不登校の子どものために、在宅学習を含めた子どもの居場所づくりとしてフリースクールの展開も活発化している。多様化する教育環境の中で、不登校対策の方向性を伺う⑥教育環境の多様化の一端として、各種NPO法人やボランティア等との連携が模索され始めている。⑦所見を伺う⑧今後の方向性を聞く④市内にあり、独自の教育を行う「東京シユタイナシシュール」はNPO法人格を取得する一方で、市内の公立小・中学校に籍の児童・生徒が約100人以上通学

一般質問



本市の豊富なIT資源、多様な活用を……市立第三小コンピュータールーム

行政改革を加速度的に進めよ

三鷹青風会 後藤 議員

議員 市は基本構想の中で民間活力の活用や、積極的なサービス提供中心のあり方から、総合的なコーディネート機能を重視したあり方への行政機構の転換をうたっている。このことは、民間委託が年々増えている中でさらに外部接触が増え、企業とのかわりも増えてくることを意味する。大手食品会社の不祥事に見られるように、人

市民サービスの一層の向上を

公明党 永原 議員

議員 市民が安心して生活できるよう、行政は多様なサービスを講じる必要がある。①高齢社会の進展や生活習慣等、がんや心臓病等で亡くなる人が増えている。疾病の予防、早期発見は重要だ。本市では、基本健康調査を実施し、結果によっては受診者に生活習慣に関する指導を行う、基本健診フ

バス路線の整備と道路の安全を

公明党 丹羽 議員

議員 ①バス路線の延伸については、我が党は毎年、市当局に要望してきた。現在、三鷹・吉祥寺の両駅から牟礼団地までの折り返しバス路線についても、議会でも以前に質問している。この路線は、かねてより住民の要望が多い。最近牟礼六丁目付近ではマンシヨンなどが建ち並び、人口は急増し、道路整備も進んでいる。牟礼団地から都営住宅に向けた延伸について実現の可能性を伺う②コミュニティバスについては、西部ルートに乗り継ぎ運賃制度が導入され、大変便利になった。運行改善を望む市民の声は、まだある。最も大きいのが、運賃を10円にという点と運行回数の増大。思い切った改善策が待たれる。所見を示す③東八道路から牟礼コミュニティセンターまでの市道側溝線には、中間点に横断歩道があり、公園も近くに2力所ある。現在、この道路には大型タンクなどが常に何十台も違法駐車している。子どもが横断歩道を渡る際に危険な目にあつた話も聞く。過日、信号機の設置に

市内病院に女性外来の設置を

公明党 久保田 議員

議員 今日、健康問題は万人に共通する関心事だ。ある大学病院では、男性の専門外来を設けたところ、全国から問い合わせが殺到したという。一方、女性の専門外来については、各地で開設が相次いでいる。最近、都議会でも、都立病院に女性外来の設置をといった質問が出され、議論がされたようである。千葉県では、女性外来の

乳幼児 所得制限撤廃を

日本共産党 大城 議員

議員 ①平成14年10月から、3歳未満の医療費自己負担分が3割から2割に軽減された。これによって、本市も都も財政負担が軽減される。②本市の都の軽減額を聞く③平成9年12月の議会、我が会派は、乳幼児医療費助成制度の所得制限撤廃を求める意見書を提出し、全会一致で可決された。その意見書の中でも三多摩格差の解消について述べている。その後本市では0歳児の所得制限撤廃をし、一方、都でも年齢制限を就学前まで拡大するなどの改善を行った。それでもまだ所得制限の面で23区と三多摩の格差はある。考えを伺う③市の負担が軽減されることと、その財源を活用し、乳幼児医療費助成の所得制限の撤廃を、3歳未満まで拡大すべきだ。⑦所

介護保険料減免など生活支援を

日本共産党 岩田 議員

議員 我が会派は、15年度の予算要望書作成の際、多くの市民の声を聞いた。それを踏まえ、①厳しい雇用情勢の下、市として、緊急地域雇用創出特別交付金を活用し、就労の場を拡充せよ②失業者への生活支援制度等の条件緩和をすべきだ③医療費や介護保険料が高齢者に負担だ。④医療制度を元に戻すよう国に働きかけよ⑤限度額を超える医療費の償還は3カ月も後である。新たな貸付制度の導入や償還払いの見直しが必要だ⑥介護保険の剰余金約4億7千万円を活用して、15年度以降の介護保険料を据置きにせよ⑦我が主張してきた低所得者の介護保険料軽減策が、ようやく実現の方向だ。取組みを聞く⑧諸課題解決には、財源が必要である。⑦公共施設の管

教育基本法の改悪を許すな

市民の党 杉本 議員

「愛国心や「国家への奉仕」を重視した道徳教育の強化を求めている。教育基本法の改正には、平和憲法の破壊という政治的意図がある。所見を聞く②文部科学省は約11億円かけて心のノートを作成し、14年4月、全国の小・中学生に配布した。今後「心の先生」や「心の授業」等、保護者や住民を巻き込んだ国家による国民精神総動員運動として、道徳教育が展開されようとしている。教育に対する国家統制・官僚支配を排するといふ、教育基本法の精神こそ守らなければならない。「心のノート」が国定教科書にならない保証はあるか③学校施設等の建設事業では、健康被害や環境問題、コスト等に留意

口の体制強化を図るべきだ。市長 ①の各自自治体の事情で、難しい点もあるが、市長会で協議する等、検討していきたい②現在の三鷹市医師会と協議中である。企画部長 ②指摘のとおりだ。抜本的な見直しを検討したい。③その他の質問 高齢者対策

向けて住民の署名が市長に提出された。今すぐの設置は困難としても、取り締まりや横断歩道の設置など早急に安全対策が必要だ。市長 ①バス事業者が検討を始め、延伸には少し時間がかかる②乗継ぎ運賃制度の実施拡大に合せて運行回数を増やしていきたい。100円運賃は収支の面で難しい③警察署と協議し、早急に問題が解決できるように努力したい。④その他の質問 教育行政/年末に向けた中小企業金融支援策

来の設置を、市内の総合病院に働きかけるべきだ。所見を伺う。市長 確かに、専門の女性医師が診察するなど、女性が受診しやすい環境をつくる動きが、各地の病院で見られている。この問題は、大規模な病院では対応の可能性が十分ある。今後、医師会に要望を伝え、ぜひ配慮していきたい。⑤その他の質問 市政運営/教育問題/介護保険

本会議録をご覧ください。本定例会の一般質問に関し、詳しい内容がわかりになります。詳しくは、本会議ホームページに掲載される本会議録をご覧ください。⑦アドレッシングは一面右に掲載